表題

副題

名前（所属）, 名前（所属）, 名前（所属）

Key word：○○○，○○○，○○○，○○○

# 1. 背景・目的

## 1.1歴史

見出しスタイルは、Word「ホーム＞スタイル」で、見出しの番号は手動でつけています。

（本文スタイル例）山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通とおせば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

住みにくさが高じると、安い所へ引き越したくなる。どこへ越しても住みにくいと悟とった時、詩が生れて、画が出来る。

## 1.2問題意識

（本文スタイル例）人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣にちらちらするただの人である。ただの人が作った人の世が住みにくいからとて、越す国はあるまい。あれば人でなしの国へ行くばかりだ。人でなしの国は人の世よりもなお住みにくかろう。

# 2. 調査方法

## 2.1調査対象

要旨の構成と見出しは一例です。分野と、ご発表内容に合わせて適切な見出しに変更をお願いいたします。

## 2.2 図・表

図表番号は、Wordの場合「参考資料＞図表番号の挿入」で挿入することができます。

# 3. 結果

## 3.1 実践例

# 4. 結論

表 1 表タイトル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1st column | 2nd column | 3rd column | 4th column |
| This | Table | Has | Been |
| Set | Using | Simple 1 | from |
| The | Table | AutoFormat | Menu |
| And | Uses | Times | 9pt |
| with | Footnotes | in Times | 8pt |



図 1 図タイトル

# 引用文献

文中で引用した文献を列記して下さい（略記可）。

ファイルをPDFに変換し、大会参加フォーム内で指定するURLよりアップロードしてください。